

環境シンポジウム 参加無料

9月18日 土

場所：島根県芸術文化センター「グラントワ」

14:20～15:10 基調講演 「サケが教える森里海連環」 C・W ニコル (作家/ナチュラリスト)

僕の友人、カナダビクトリア大学のトム・ライムヘン教授は、「サケが森を作っている」ことを発見した。サケが産卵のために川を溯上し、クマがそれを食べるために森に運ぶことで、窒素15が木の幹の中に含まれて年輪が太るのだ。
森と川と海のつながりやつらな川にはこんな不思議な力がいっぱいある。
「SEA TO SUMMIT」は、そんな「森里海連環」を教えるイベントである。



1940年 英国南ウェールズ生まれ。
1980年 長野県に居を定める。
1986年 荒れ果てた里山を購入。その里山を「アフンの森」と名付け再生活動を始める。
2002年「アフンの森」での活動や調査などをより公益的な活動として全国展開するために、「財団法人 C.W.ニコル・アフンの森財団法人」を設立。理事長就任。

15:15～16:15 パネルディスカッション

【パネリスト】 南こうせつ (ミュージシャン)・内田正洋 (海洋緑化協会キャプテン)・天野礼子 (アウトドアライター)

【モデレーター】 辰野 勇 (モンベルグループ代表)



内田正洋

1956年 長崎県大村市生まれ。
1987年から日本のシーカヤック界を牽引してきた。
2009年 海の砂漠化防止を目的とした海洋緑化協会を設立。緑の海、かつての美しい海を取り戻す活動として全国で講演会、シンポジウムを開催している。



南こうせつ

1949年 大分生まれ。
1970年から「かぐや姫」というバンドで活躍。
1992年より音楽を通じ、減少しつつある都会の緑の大切さをメッセージする、「自然」とのふれ合いコンサート「GREEN PARADISE」を毎年開催している。



天野礼子

1953年 京都市生まれ。同志社大学在学中に釣りを始め、「ノートクラブ」に入会。
1979年 開高健を文学の師とし、入門。
1988年 師と共に長良川河口堰反対を立ち上げ日本の川に警鐘を鳴らす。
2008年7月 養老孟司、C・Wニコルらと、「日本に健全な森をつくり直す委員会」を結成した。



辰野 勇

1947年 大阪府堺市生まれ。
1969年 アイガー北壁日本人第二登を果たす。
1975年 株式会社モンベルを設立
2007年 代表取締役会長就任。

17:00～18:00

環境ライブ

南こうせつ
トーク&ライブ
「川よ甦れ！」

有料 ¥2,500 (税込)
(ペア ¥4,000 (税込))

ライブに関するお問い合わせ
TEL.0856-25-7220

会場案内・アクセス

◎大会受付、大会スタート地点

【会場】 高津川河口 (左岸)

◎開会式、環境シンポジウム

【会場】 島根県芸術文化センター「グラントワ」

浜田自動車道浜田ICから国道9号線を益田市方面へ約45km
中国自動車道六日市ICから国道187号、国道9号線で益田市方面へ約58km

◎閉会式 (表彰式)、販売 (地元特産品、飲料)

【会場】 高尻川リバーサイドログハウス村

中国自動車道六日市ICから国道187号で益田市方面へ進み、県道42号を右折。六日市ICから約15km。
益田市から国道9号線、国道187号線で吉賀町方面へ進み、県道42号を左折。益田市から約55km。



高津川から安蔵寺山山頂へ

SEA TO SUMMIT® TAKATSUGAWA 2010



た かつ が わ
高津川 9/18-19 土 日

開催場所：島根県高津川流域

益田市・津和野町・吉賀町 (モンベル フレンドリバー高津川)



KAYAK 10km



BIKE 35km



HIKE 10km

主催／高津川 SEA TO SUMMIT 実行委員会 (事務局／株式会社モンベル)
後援／島根県、益田市、津和野町、吉賀町、日本に健全な森をつくり直す委員会

オフィシャルウェブサイト <http://www.seatosummit.jp>

※「Sea to Summit / シー トゥー サミット」は株式会社モンベルの登録商標です。

【お問い合わせ】

高津川 SEA TO SUMMIT 実行委員会 事務局 (株式会社モンベル広報部内)
TEL/06(6531)5524 FAX/06(6531)5536 〒550-0013 大阪市西区新町 1-33-20

オフィシャルウェブサイト
<http://www.seatosummit.jp>

高津川 SEA TO SUMMIT® 2010 大会に寄せて

高津川シートゥー サミットに参加される皆様に、島根県民を代表して心から歓迎申し上げます。
高津川は国土交通省が実施した1級河川の水質調査で、平成18年、19年の2年連続で日本一となりました。

高津川は、私たちに多くの恵みをもたらしてくれています。春から夏には天然のアユが遡上し、全国からの釣り人で賑わい、秋にはモズガニ漁が盛んに行われます。

上流部では清涼な気温と水質を利用し、わさびの栽培が行われ、中流部に広がる畑では高津川から水を引き込み、メロンやイチゴ、トマトなどの特産品が栽培されています。また、高津川の河口に近い海岸では、直径7センチ以上という大ハマグリが特産となっています。

歴史を振り返りますと、中世の400年間、この地域は益田氏の治世が続きました。画聖雪舟が招かれ、この地に庭園や絵が残されるなど、平和で安定した時代であったことがうかがわれます。また、江戸時代にこの地域を治めた津和野藩は、明治の近代化を牽引した西周や森鷗外などを輩出しています。益田氏や津和野藩の繁栄や歴史的貢献の背景には、高津川の恵みがあつたのではないかと思います。

言うまでもなく、この高津川の恵みは、その環境が良好に保たれていることによりもたらされるものであります。流域の人々は、このような高津川の恵みと環境の大切さを深く理解し、それを後世に残すべく、豊かな河川の源である森林の整備や有機・エコ農法への取り組み、バイオマスエネルギーの活用推進、EMダンゴ投入による河川浄化などに取り組んでおられます。

シートゥー サミットは水の流れを遡り、海から山へと自力で進むなかで自然の循環を考える環境イベントです。高津川は、このイベントを開催する場として最もふさわしく、参加される皆様は、「高津川を遡るカヤック」、「高津川に沿ってひた走る自転車」、「安蔵寺山を目指す登山」と、それぞれのステージで自然との一体感を感じられると思います。そのなかで、自然のすばらしさや環境を守ることの大切さを実感していただければと思います。

皆様の島根へのお越しを心よりお待ちしております。

シートゥー サミットは、海・里・山を結ぶ環境イベントです。

中国山地に連なる島根県最高峰「安蔵寺山」からの流れを巻き込み、日本海に流れる高津川は、かつて日本一の清流にも選ばれました。川は、まるで人間の動脈のように、豊かな山の恵みを運び、野を潤し、里を潤し、やがて海を潤します。「山は海の恋人」と例えられるように、それぞれ自然の営みは密接にかかわりあって存在します。そんな、我々生物にとってかけがえのない地球の循環を、カヤックと自転車、そして登山で、いい汗を流しながら、風を感じ、水を感じて実感してもらいたい。そんな思いでこの企画を立案しました。

シートゥー サミットは、スピードを争う競技ではなく、老若男女、誰もがそれぞれの体力に応じたアウトドアスポーツを楽しんでいただくイベントです。

そしてこの行為が及ぼす環境への負荷を最小限にとどめる為に、イベントの参加者を100組までと限定させていただきました。一人一人がかけがえのない地球を肌で感じ、その大切さを多くの人々に伝えるためのメッセージとなれば幸いです。



大会長

島根県知事 溝口 善兵衛



実行委員長

モンベルグループ代表 辰野 勇

高津川 SEA TO SUMMIT® 2010

開催要綱



主催 高津川 SEA TO SUMMIT 実行委員会(事務局・株式会社モンベル)
後援 島根県、益田市、津和野町、吉賀町、日本に健全な森をつくり直す委員会
協賛 株式会社モンベル、サントリー食品株式会社、ジャパン・ゴアテックス株式会社、ファミリー株式会社、株式会社ロブテックス、大山ハム株式会社、株式会社ナリスアップコスメティックス、株式会社オージーケーカブト、株式会社いいよねっと、コカ・コーラウエスト株式会社、オリンパスイメージング株式会社、海快晴(株式会社サーフレジェンド)、キャメルバック、オーツースタイル(株式会社エクスプローブ)、Nite Ize, Sun Company、ウイングキャリア、有限会社アキコーポレーション、メダリスト(株式会社アリスト)、セコム株式会社、ごうぎん島根文化振興財団、株式会社樫(えい)出版社、ザ・フrintストーン(株式会社ベイヘフエム)

大会期日 2010年 9月18日(土) 9月19日(日)

会場 9月18日 高津川河口／島根県芸術文化センター「グラントワ」(雨天決行)
9月19日 高津川河口(スタート)、高尻川リバーサイドログハウス村(表彰式、雨天決行)
海のステージ[カヤック]高津川河口 ～ 益田川河口折り返し ～ 飯田角井大橋下 約10km
山のステージ[自転車]飯田角井大橋下 ～ 道の駅シルクウェイにちはら
～ 左鐙小学校 ～ 杣の里よこみち 約35km
山のステージ[ハイキング]杣の里よこみち ～ 奥谷登山口駐車場～安蔵寺山山頂 約10km

※天候およびコースの状況により変更になる場合があります。

定員 100組(※エントリー受付は終了しております。)

参加費 シングルの部：¥15,000(税込)／チームの部：¥9,000×人数(税込) **環境保全協力金¥500を含む**

参加資格 ●健康な方で、参加者全員分のカヤック装備(PFD/ライフジャケットを含む)、自転車装備(ヘルメットを含む)、水分補給のための給水用装備(ハイドレーション・システムなど)を用意できる方
●シングルの部:高校生以上の方、チームの部:中学生以上の方
●大会事務局より大会参加承認を受けた方
※病弱、心臓に障害のある方は参加できません。※高校生以下の参加には保護者の同意が必要です。※年齢は大会当日を基準とします。

日程 9月18日(土)

【会場】高津川河口

11:00～13:30 大会受付
カヤック搬入 ※受付終了者に限る。

【会場】島根県芸術文化センター「グラントワ」

14:00～ 開会式
14:20～ 環境シンポジウム
16:20～ 大会説明
17:00～18:00 南こうせつトーク&ライブ※有料

【会場】飯田角井大橋下

17:00～20:00 自転車搬入
※20:00以降の搬入は行っておりません。
20:00以降となる場合は、翌日19日に行ってください。

制限時刻

12時までに杣の里よこみち(約45km地点)、
13時30分までに奥谷登山口駐車場(約50km地点)
14時30分までに登山道途中の確認ポイント(約52km地点)を通過すること。
※詳しくは、次ページの地図をご覧ください。

9月19日(日)

【会場】飯田角井大橋下

4:00～ 自転車搬入

【会場】高津川河口

4:30～ カヤック搬入
5:30～ 大会スタート※カヤックスタートは6:00です。

【会場】高尻川リバーサイドログハウス村

15:00～ イベント会場オープン
18:00～ 表彰式・閉会式

19:30 終了

※天候およびコースの状況により変更になる場合があります。

コース全体図

9月19日

大会コースとチェックポイントのご案内
です。応援ポイントなどご紹介してお
ります。是非、参考にしてください。
※天候およびコースの状況により変更になる
場合があります。

- チェックポイント
- エイドステーション
- 応援ポイント
- 自転車メンバー
- 交代可能地点
- トイレ
- 駐車場

応援サポーターの方へ
路上駐車・自動車による自転車との
並走は周辺住民の方のご迷惑となり
ますのでご注意ください。
各応援ポイントの最寄りの駐車場
をご利用ください。

34°42'76"N 131°93'16"E
高尻川リバーサイド
ログハウス村
(閉会式(表彰式)、販売会場)

公式気象情報
モバイルサイト

株式会社サーフレジェンドのご協力
により、イベント専用モバイルサイトが
オープンいたします。サイト内では、大会
の主要ポイントにおける気象情報につ
いて、天気はもちろん、風や波などの情
報をわかりやすくご案内します。
また、「高津川 SEA TO SUMMIT
2010」に関する最新情報を、このモバ
イルサイトより随時発信していきます。
是非ご利用ください。

アクセスはこちらから



34°69'32"N 131°82'16"E
高津川河口 (大会スタート地点)
応援目安時間 6:00—7:30

34°66'09"N 131°81'13"E
飯田角井大橋下
応援目安時間 7:30—9:30

神田回転場
応援目安時間 7:45—10:00

34°55'26"N 131°80'77"E
道の駅シルクウェイ
にちはら
応援目安時間 8:00—10:30

34°49'58"N 131°86'89"E
左鐙小学校
応援目安時間 8:20—11:30

34°48'80"N 131°92'50"E
杣の里よこみち
応援目安時間 8:40—12:00

34°50'77"N 131°95'68"E
奥谷登山口駐車場
応援目安時間 9:20—13:30
※駐車場までの林道が狭く、参加者の通行の妨げになりますので、車の乗り入れはお控えください。

34°47'76"N 131°96'72"E
安蔵寺山山頂 (大会ゴール地点)
応援目安時間 10:30—15:30

34°45'42"N 131°96'40"E
ゴゴの郷
ログハウス村
応援目安時間 12:30—17:30

高津川 SEA TO SUMMIT® 2010

協賛団体(順不同)

mont・bell

株式会社モンベル <http://www.montbell.jp/>
総合アウトドアメーカー。「Function is beauty」と「Light&Fast」をコンセプトに高性能登山用品とアウトドア用品全般の開発・製造・卸・販売を行っています。



株式会社ロブテックス <http://www.lobtex.co.jp/>
大山町に工場をもつ、工具メーカー。作業工具・ファスニングツール・工業用ファスナー・電設工具・油圧工具・切削工具の製造販売を行っています。「LOBSTER(エビ印)」が目印です。



株式会社いいよねっと <http://www.iioyo.net/>
携帯用ハンディGPSナビゲーターのトップシェアを誇る米国ガーミン社と連携し、総代理店として日本国内の皆様に合わせた製品を開発・販売しております。



キャメルバック <http://www.camelbak.jp/>
20年近くにわたり、ハイドレーションシステム技術の最先端を担ってきたブランド。ハイドレーションシステムの世界NO.1ブランドとして広く知られています。



ウイングキャリー <http://www.wingcarry.com/>
「ウイングキャリー」とは動力を使ってカヤックを自動車の屋根に積み込む、最新型のキャリアです。会場では展示品をご用意しております。

どうぎん島根文化振興財団

<http://www.gogin.co.jp/>
山陰合同銀行創立50周年記念事業として設立。地域社会の発展に貢献することを目的とした支援・協賛活動を行っています。



株式会社ベイエフエム <http://www.bayfm.co.jp/>
千葉のFMラジオ局ベイエフエムです。今回、取材も兼ねてチームで出場します。その模様は10月に人気ネイチャー・プログラム「ザ・フリンストーン」で放送予定です。

SUNTORY

サントリー食品株式会社 <http://www.suntory.co.jp/>
奥大山一帯の広大なブナ林によって蓄えられた「サントリー天然水(奥大山)」をエイドステーションの給水用に提供しています。



大山ハム株式会社 <http://www.daisenham.com/>
2010年国際ハム・ソーセージ品質競技会6年連続金賞受賞。自然の恵みをいっぱい受けたハムやソーセージを食卓にお届けします。



コカ・コーラウエスト株式会社 <http://www.ccwest.co.jp/>
「飲料ビジネスの未来を創造します」が我々のメッセージ。地域に根ざし、地域の皆さまに信頼され、ご支持をいただける企業を目指してまいります。大山が育んだ名水「いろ・は・す」をご賞味ください。



オーツースタイル(株式会社エクスプルーブ) <http://www.o2style.jp/>
携帯酸素の決定版ともいえる18リットル圧縮酸素ボンベ「O2style」を展開しております。



有限会社アキコーポレーション <http://www.konaworld.jp/>
「KONA」をはじめ、多数のブランドを取り扱っている自転車メーカーです。全国各地で多数のイベントを展開。自転車業界をリードしています。



株式会社樫(えい)出版社 <http://www.ei-publishing.co.jp/>
「ピース」、 「ランドネ」、 「フィールドライフ」、 「カヌーライフ」、 「タカタツ」、 「バイシクルクラブ」などを発行しています。



ジャパン・ゴアテックス株式会社 <http://www.jgoretex.co.jp/>
身体を常にドライで快適に保つゴアテックス®プロダクト(製品)は世界中のアウトドア・シーンで、揺るぎない信頼と実績を確立しています。



株式会社ナリスアップコスメティックス <http://www.narisup.com/>
大阪市に本社をおく化粧品メーカー。手軽に食べられる「ちょいモグ」「ぐびたっ」をはじめとした機能性食品を製造・販売しております。



オリンパスイメージング株式会社 <http://olympus-imaging.jp/>
様々なアウトドアシーンで活躍し、アウトドア愛好家から絶大な支持を得ている「OLYMPUS」。防水デジタルカメラ、デジタル一眼レフカメラ他多数取り扱っております。



Nite Ize <http://www.niteize.com/>
アメリカに本社をおく、高輝度LEDライトアクセサリメーカー。携帯電話アクセサリやアウトドア用アイテムなど幅広く展開しています。



株式会社アリスト <http://www.arist.co.jp/>
現代人に不足しがちな栄養素を簡単に摂ることができる「メダリスト」。スポーツ時のスタミナ源だけでなく、日常の栄養補給としても効果を発揮します。



ファミリー株式会社 <http://www.family-chair.co.jp/>
日本が生んだ文化的健康商品「マッサージチェア」を世界の家庭へ届けたい……大山町に工場をもつマッサージチェア専門メーカーです。



株式会社オーグケーカブト <http://www.ogkhelmet.com/>
ヘルメット&ギアメーカー。新しい発想力を活かした商品企画、安全性を追求したハイスベックな商品開発に取り組んでいます。



海快晴(株式会社サーフレジェンド) <http://pc.umikaisei.jp/>
2008年4月より海専門の気象情報モバイルサイトをスタート。「高津川」SEA TO SUMMIT 2010」専用モバイルサイトを開設いたします。



Sun Company <http://www.suncompany.net/>
アウトドアの中で役立つ斬新なアイデアを持った小物を、1971年から次々と世に送り出しているユニークなアクセサリメーカー。

セコム株式会社

<http://www.secom.co.jp/>
「信頼される安心を、社会へ。」という思いを具現化すべく、「社会システム産業」の構築をめざしています。

実行委員会

島根県、島根県西部県民センター、益田市、益田商工会議所、美濃商工会、益田市観光協会、美都町特産観光協会、匹見町観光協会、津和野町、津和野町商工会、津和野町観光協会、吉賀町、吉賀町商工会、吉賀町観光協会、益田地区広域市町村圏事務組合、高津川漁業協同組合、漁業協同組合JFしまね、島根県山岳連盟、島根県サイクリング協会、島根県カヌー協会、NPO法人アングアンテ21、高津川大学、清流高津川日本一を祝う会、にちはら自然の会、日原カヌークラブ、株式会社石西社、株式会社モンベル